

4-6 みやぎエコ・ツーリズム推進事業

事業目的

近年、身近な環境に対する保護意識や自然とふれあう体験への欲求が高まっています。また、自然環境への影響や負担をできるだけ少なくすることにより、観光の基盤である自然環境・文化財・地域社会と共生した新しい観光のスタイルが求められています。

このような背景から、観光地の環境保全を図るため、エコの視点を取り入れた観光施策を実施します。

事業効果

CO2削減効果	2 t-CO2
その他(シャトルバス運行助成)	3件

事業内容

○平成29年度事実実施事業

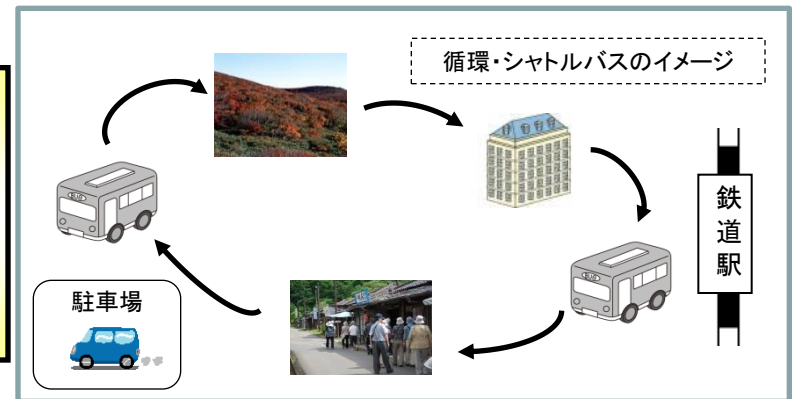
1 産業観光・エコツーリズム調査宣伝事業

教育旅行に関し、学校や旅行会社に積極的に宣伝するとともに、観光資源の発掘を行い、エコツーリズムの資源を整理し、体験メニュー等の構築に取り組みます。

2 公共交通機関活用事業補助

市町村又は観光関係民間団体(バス事業者は除く)の実施主体へ事業費の1/2を補助します。(事業量) 3件程度

○平成29年度事業費 7,000千円



現状

- これまでの観光は、個人又は団体が観光地を訪れ、見学し、贅沢に宿泊する消費型が主 ⇒ 代表的な物見遊山的観光
- 観光産業も、観光地に大量のお客様を誘客することで、経済重視のサービス提供を行ってきました。
- 近年は、知的好奇心を満たすような体験型観光や自然と触れあう癒やしへのニーズが高まっています。
- また、観光客が増えることは、環境的にも負荷がかかることとなります。⇒交通手段:自動車によるCO2排出
宿泊:贅沢なアメニティの提供



税導入後のイメージ

環境をテーマとした観光を体験・実感することにより、環境保全に対する意識の向上が期待できるほか、観光消費による地域経済の活性化が見込まれます。

また、地域のイメージアップに貢献するとともに、その良さを見直すことで、その地域の資源をいつまでも守り続けようとする意識の向上につながります。

